



少年騎馬 旗をとり中央公園を駆ける (5月26日)



老練の武者 標葉郷本陣より出陣 (5月25日)



馬上のほほ笑み (5月26日 中央公園)



ラッキーも出迎え (5月26日 道の駅なみえ)



YouTubeで動画公開中！

野馬追がくれた仲間との絆

木村 奈々美 さん (18歳)

「神旗を獲得したのは女性騎馬武者です!」。場内のアナウンスが響く中、万雷の拍手を一身に浴び本陣山を駆け上がったのは、18歳の木村奈々美さん(北幾世橋出身)。26日に雲雀ヶ原祭場地(南相馬市)で行われた神旗争奪戦で神旗を初めて獲得し、出場10年目で最も輝かしい戦果を手にしました。

幼いころに見た女性騎馬武者の姿に魅せられ、野馬追の世界に飛び込みました。進学した相馬農業高校では馬術部に入り、畜産専攻を選ぶなど、野馬追を通して馬と出会い、動物への愛情も育まれたといいます。

「原発事故があってみんなバラバラになっちゃったけど、年に1回、こうして仲間と集まることが嬉しい。野馬追がなかったら仲間にも出会えなかった。地域の絆、仲間の絆を確かめられることが、野馬追に出るモチベーションになっています」。

そう熱く話す木村さん。現在は相馬市に避難しており、野馬追がふるさと浪江との繋がりになっています。女性の出場は20歳未満という規定があるため、木村さんは19歳になる来年、野馬追を引退します。



雲雀ヶ原祭場地の神旗争奪戦で神旗を獲得した木村さん (26日)

6歳の初陣 家族みんなに支えられて



中央公園から出陣した陸斗くん。
横にはお母さんの美雪さんの姿 (25日)

稲本 陸斗 くん (6歳)

大きな馬の背に揺られる小さな6歳の騎馬武者。横で馬を引くお母さんの目には、光るものがありました。

小学1年生の稲本陸斗くんは、長年野馬追に出場しているお父さん・幸平さんの実家がある浪江町から今年、初陣を飾りました。南相馬市鹿島区の自宅で飼う3頭の愛馬とふれあう中で「カッコいい衣装を着て馬に乗りたい」と昨年家族に明かしたそうです。以来、自宅の馬場で、両親と乗馬の練習に励む日々が続きました。

陸斗くんには双子の兄・陽斗くんがいます。陽斗くんは今回出場しませんでした。馬の世話が大好きで、陸斗くんの出場を陰でサポートしてくれました。「陽斗と一緒に馬の世話をしながら練習もしているよ。」出陣前の陸斗くんが少し照れくさそうに教えてくれました。

そして迎えた本番。馬の扱いに慣れているお母さん・美雪さんが馬を引きながら、堂々と出陣を果たしました。

「行列中は家族バラバラになったんですけど、団結して出場できました。(出場しなかった)陽斗も気にかけてくれました」。美雪さん

は、愛息の成長に目を見張りながら、万感の思いで野馬追を振り返っていました。

気温、10度以上涼しく

猛暑対策として7月から5月に開催時期が変更になった相馬野馬追。

祭り期間中の浪江町の気温は、昨年7月と比べ、日によっては10度以上涼しくなりました。

(気象庁の公表データより)

今年	最高気温	最低気温
5月25日	23.4度	9.8度
5月26日	25.7度	8.0度
5月27日	29.1度	16.7度

昨年	最高気温	最低気温
7月29日	35.6度	24.9度
7月30日	35.7度	24.8度
7月31日	35.2度	26.1度